

がんゲノム医療の現状と今後

遺伝子パネル検査の医療機器としての認可や、がんゲノムの医療中核拠点病院と医療連携病院の指定、医療拠点病院の整備等、日本の医療現場ではがんゲノム医療を実地診療で提供することを目指し制度設計を進めている。この制度のもとでゲノム医療を希望しパネル遺伝子検査を受けたがん患者は中核病院にて個別に合わせた治療方法が提示され、治療を受けた患者には改善の様子が現れている。

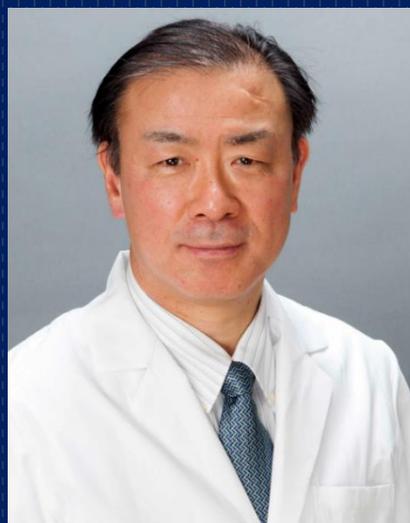
そのため今後更に多くの患者が自身に合った治療にたどり着けるよう、適応外薬の包括的患者申し出療養や施設限定の早期承認等が検討されている。

一方、ゲノム情報やその診療・治療に関するデータは各関係医療施設からがんゲノム情報管理センターに集約されており新規治療の開発に役立てられている。

国立がん研究センター中央病院 病院長

講師 **西田 俊朗 先生**
(にしだ としろう)

1981年3月 大阪大学医学部医学科卒業
1987年3月 大阪大学大学院医学研究科博士課程終了
1981年7月～ 国立泉北病院 外科医員
1987年7月～ 紀南総合病院 外科医員
1989年7月～ 大阪労災病院 外科医員
1990年2月～ 米国Tufts大学医学部研究員
1992年2月～ 大阪警察病院 外科医長
1994年1月～ 大阪大学医学部第一外科 助手
2002年6月～ 大阪大学大学院講師
2004年10月～ 大阪大学大学院助教授
2009年8月～ 大阪警察病院 外科系統括部長
2010年3月～ 大阪警察病院 副院長兼外科系統括部長
2013年8月～ 独立行政法人国立がん研究センター東病院 院長
2016年4月～ 国立開発法人 国立がん研究センター 中央病院 院長



日時：2019年7月9日（火） 18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室

司会：丸橋 繁 先生（肝胆膵・移植外科学講座）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目（規定の8）に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 2019年8月20日（火） 18時～19時 / 福島県立医科大学11号館 第2臨床講義室
（講師）国立がん研究センター 中央病院肝胆膵内科 医長 脇岡 範（ヒジオカ ススム）先生